

# ジンクプラス S 成分表・試験成績書

## 1. 成分表(重量%)

	塗料状態	乾燥塗膜状態
亜鉛粉末	34.2	90.2
亜鉛フレーク粉末	20.2	
アルミペースト	2.2	1.4
アクリル系共重合樹脂ワニス	18.5	6.7
添加剤	2.1	1.7
溶剤	22.8	—
計	100.0	100.0

## 2. 性状

項目	性状	備考
色	シルバー	野外暴露されるに従い亜鉛メッキ同様、退色する
密度(20℃)	1.80±0.1	JISK5600-2-4
加熱残分(%)	60.3±3.0	
乾燥時間(分)	30~40(指触乾燥)	塗装間隔3時間~(環境温度20℃の場合の目安)
塗布量(g/m <sup>2</sup> )	645	1.6m <sup>2</sup> /Kg
推奨膜厚(μ)	80	2~3回塗り(塗料を置いていく感覚)

## 3. 試験成績表

項目	結果	JIS	規格
容器中の状態	異常なし	JISK5600-1-1	硬いかたまりがなく、均等になること
作業性	異常なし	JISK5600-1-1	吹き付け、ハケ塗装に支障がないこと
鉛筆ひっかき試験	HB	JISK5600-5-4	鉛筆保持角45° 荷重750g
ゴバン目試験	異常なし	JISK5600-5-6	1mm×100目セロハンテープはがし
耐屈曲性	異常なし	JISK5600-5-1	6mmの心棒で試験して180°折り曲げに耐えること
耐おもり落下性	異常なし	JISK5600-5-3	1/2" φ×500g×50cmで割れ、はがれができないこと
耐液体性	異常なし	JISK5600-6-2	水に72時間浸漬して異常がないこと
耐中性塩水噴霧性	異常なし	JISK5600-7-1	5%食塩水で168時間異常がないこと
耐候性	異常なし	JISK5600-7-6	6ヶ月間異常がないこと


①JISK5600による。②試験片は塗ってから7日間置いた後試験する。

## 4. 荷姿及び入れ目

●0.1Kg入り(12缶)、1Kg入り(6缶)、5Kg入り(2缶)、20Kg入り ※()内はケース単位

## 5. 推奨補修箇所

- 屋内塗装環境の管理が必要とされる箇所。
- 溶融亜鉛めっき鋼材のタレ跡、不めっき箇所、亜鉛めっき時の治具跡、溶接、溶断箇所、穴あけ箇所、仕上げ材料組付欠落箇所等の各種補修、配管パイプ、空調設備、水門装置の錆止め、各種自動販売機、水処理設備、工場のトタン板、グレーチング、ケーブルトレイ、パイプ接合部、ゴンドラ、エレベーター、チャンネルフレームなど。

 日新インダストリー株式会社

本社：新宿区西早稲田2-15-11イーストンビル西早稲田2F TEL:03-3209-2181/FAX:03-3232-6953

※本データは、代表値であり保証値ではありません。

# ジンクプラス S 塗料性状表


製品名	ジンクプラス S		
塗料種類	環境対応型高濃度亜鉛末塗料		
塗料組成	主展色剤	アクリル共重合樹脂	
	主顔料	亜鉛粉末、亜鉛フレーク粉末、アルミペースト	
	主溶剤	プロピレングリコールモノメチルエーテル	
色相	シルバー		
塗料密度 (g/ml)	1.80	加熱残分 (%)	60.3 ± 3.0
推奨膜厚 (μm/回)	80 (Dry)	揮発分密度 (g/ml)	0.925
塗布量 (g/m <sup>2</sup> )	645	荷姿	0.1Kg/1Kg/5Kg/20Kg

下地調整	鉄面	亜鉛めっき同等の効果要求：プラスト処理 1 種 B (ISO Sa2 1/2) 一般環境：電動工具処理 2 種 (ISO St3)				
	亜鉛メッキ面	被塗面に塗着している油脂類及び阻害物を除去。				
乾燥時間	温度	指触	半硬化	完全硬化	塗装間隔	備考
	10℃	1 時間	3 2 時間	1 4 日	2 4 時間	
	20℃	3 0 分	1 6 時間	7 日	3 時間	
希釈率	刷毛塗り	希釈不要 (使用中に粘度があがってきた場合、元の粘度に戻す程度で希釈)				
	エアレス	塗料の 5~10% 程度				
希釈シンナー	製品名	ジンクプラスシンナー R				
	荷姿	1L/3L/16L				

塗装条件	エアレス	ろ過	#100
		チップ径	1.5~2.0mm
		エア圧力	0.29MPa (標準)
	刷毛塗り	塗り広げすぎないように塗料を置いていく感覚で塗装	
環境条件	相対湿度	<85%RH	
	気温	10~35℃	
安全性 (塗料)	引火点	32℃	
	発火点	278℃	
	消防法	第 4 類第 2 石油類	
	労働安全衛生法	非該当 (PRTR、特化則、有機則)	
	爆発特性	1.2~15.0vol%	
安全性 (シンナー)	引火点	33℃	
	発火点	276℃以上	
	消防法	第 4 類第 2 石油類	
	労働安全衛生法	非該当 (PRTR、特化則、有機則)	
	爆発特性	1.5~12.0vol%	

## 注意事項

- ①鋼材表面温度が 50℃ 以上では異常塗膜になる場合があるので塗装は避けること。
- ②塗装時ならびに塗料取り扱い時は換気を十分行い、火気厳禁とすること。
- ③5℃ 以下の気温が連続する場合、湿度 85% 以上の場合、施工しないでください。
- ④塗料が沈降している場合がありますので攪拌はディスパーで行ってください。
- ⑤製品安全に関する詳細な内容は安全データシート (SDS) をご参照ください。
- ⑥記載内容については予告なく変更することがあります。
- ⑦本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合には事前にご相談ください。

 日新インダストリー株式会社

本社：新宿区西早稲田 2-15-11 イーストンビル西早稲田 2F TEL:03-3209-2181/FAX:03-3232-6953